

工透析を受け、何とか健康を維持している状態です。

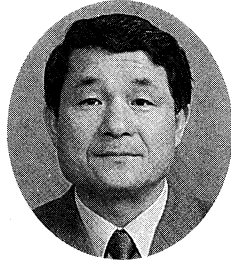
春になったら桜を見に行こうという願いが叶い、先日、南湖公園に一緒に出かけることができました。出会の春、教師になってよかったです。感じる嬉しい季節です。

(白河市立小田川小学校教諭)

## 化石の

### メッセージ

松本 武雄



化石というものに出会ってから今日まで、かれこれ二十五年になるが、化石を仲立ちとしてさまざまな出来事を経験することができた。

高校の時に天文地質クラブに入り、約二億五千万年前の地層が分布する四倉町高倉山で化石の採集をした時に強烈な印象を受けた。この時から、いわきを始めてとして県内、そ

して県外にも足をのばすことになり、いろいろな化石を採集することができたほかに、多くの人々との出会いや、数々の化石展への参加の機会を得ることができた。

このようにして収集された化石は、やがて授業でも使うことができ、生徒達に少なからぬ感動と自然への興味を起こさせることができたのは幸いである。地層の学習ではきまつて三十点ほどの化石を見せることにしているが、この時ばかりは生徒達の目が輝き、一挙に化石の価値が高まるのである。一昨年は地元の地層の歴史をテーマにして化石をみせたところ、授業中ばかりでなく、土曜日の放課後まで残つてスケッチする生徒も現れ、しかもその観察の細かさは大変優れたものであった。

このように生徒を夢中にさせてしまふ化石の魅力とは何だろうか。化石は教千万年、数億年の昔から甦り、大古のロマンを我々に語りかけてくれるし、また、時には社会や人生の縮図のようにもみえるからである。

これまでの化石の採集や発掘の中でも特に印象に残っているのは、数年前になるが、本州一大きい巨大アンモナイトとクビナガリユウのなまの「イワキ竜」の発見である。いづれも、いわき市大久町で発掘され、

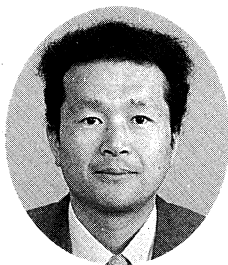
しかも発掘作業時、高校時代のクラブの友人が一緒であったことも嬉しさを倍加させた。

学校においての思い出は、クラブの時間に遠い露頭(崖)をめざし、徒歩で、ある時は車で化石採集に出かけたことであり、そこでの生徒達の生き生きとした動き、真剣なまなざしを忘れることはできない。さらに、授業の野外観察において、学校近くの露頭で必死に岩を割る生徒達の姿や、産出されたウニの化石を見つけた時の生徒の喜びは、自分の学生時代の感動をよび起こさせる。

化石という恐竜だけが目立つようであるが、どんな小さな化石でも、その価値が分かれば存在感の大きさに気づくであろうし、化石が好きに

## 近頃感じたこと

太田 勇一



なってしまうものである。

我々教師も、生徒一人一人の存在や価値を長い歩みの中でとらえていくことが大切であろう。近ごろの生徒の表情や態度を見てみると、それはあたかも地層の中の化石が発掘を待ちわびながら無言のメッセージを送っているかのように感じられるのである。

(いわき市立大野中学校教諭)



「先生、僕のおばあちゃんが先生のおしめを交換していたというのは本当ですか。」「うん、本当だよ。先生が赤ちゃんるとき、おばあちゃんにお世話になっていたんだよ」

これは、昨年の四月に須賀川市立

第一中学校に着任して間もなくの私とクラスの子との会話である。考えてみると、この一年間、私の周りには様々な出来事があった。その都度、教師としての責任の重大さを感じた。